

令和8年度 新規採択



土地改良事業計画書

農村地域防災減災事業

用排水施設整備事業（小規模）

地区名	東豊浜
所在地	伊勢市
事業主体	三重県

土 地 改 良 事 業 計 画 書

第 1 章 目 的	1	第 5 章 主 要 工 事 計 画	13
第 2 章 地 域 及 び 地 積	1	第 1 節 用 水 施 設	
第 1 節 地 域	1	第 2 節 排 水 施 設	13
第 2 節 地 積	1	第 3 節 道 路 及 び 索 道	
第 3 章 現 況	2	第 4 節 農 用 地 造 成	
第 1 節 気 象 及 び 海 象	2	第 5 節 洪 水 調 節 施 設	
第 2 節 土 地 状 況	3	第 6 節 干 拓 施 設	
第 3 節 水 利 状 況	5	第 7 節 農 用 地 整 備 施 設	
第 4 節 道 路 概 況		第 8 節 老 朽 ため 池 改 修 施 設	
第 5 節 地 域 農 業 の 概 況		第 6 章 附 帯 工 事 計 画	15
第 6 節 地 域 環 境 の 概 況	7	第 7 章 工 事 の 着 手 及 び 完 了 の 予 定 時 期	15
第 4 章 一 般 計 画	8	第 8 章 環 境 と の 調 和 へ の 配 慮	16
第 1 節 事 業 計 画 の 要 旨	8	第 9 章 換 地 計 画 の 概 要	
第 2 節 営 農 計 画 及 び 土 地 利 用 計 画	8	第 1 節 換 地 計 画 を 作 成 す る 上 で の 基 本 的 な 考 え	
第 3 節 用 水 計 画		方	
第 4 節 排 水 計 画	9	第 2 節 換 地 区 の 設 定	
第 5 節 道 路 計 画		第 3 節 換 地 計 画 樹 立 の 基 本 方 針	
第 6 節 農 用 地 造 成 計 画		第 10 章 事 業 費 の 総 額 及 び 内 訳	17
第 7 節 洪 水 調 節 計 画		第 11 章 効 用	18
第 8 節 干 拓 計 画		第 12 章 関 連 す る 事 業	19
第 9 節 農 用 地 整 備 計 画		第 13 章 現 況 ・ 計 画 平 図 面	19
第 10 節 老 朽 ため 池 改 修 計 画		第 14 章 土 地 改 良 施 設 の 管 理 者 及 び 管 理 方 法	20
		第 15 章 事 業 費 の 細 目 及 び 資 金 計 画 を 記 載 し た 書 面	21

第 1 章 目 的

本地区は伊勢市の北部に位置し、外城田川と宮川に挟まれた臨海地帯であり、昭和49年度に県営湛水防除事業北浜地区により
湛水防除対策として排水機場が整備された。

築造後51年が経過した現在、施設の老朽化が進行していることから現況施設の排水機能を維持していくため、施設長寿命化計画
に基づく機能保全対策を実施し、施設機能の効率的な保全を図る。

第 2 章 地 域 及 び 地 積

第 1 節 地 域

(第 1 表)

事 業 名	地 域	備 考
農村地域防災減災事業 用排水施設整備事業(小規模)	伊 勢 市 東豊浜 町	[機能保全対策工事]

注) 「事業名」欄は二以上の土地改良事業を併せて行う土地改良事業の場合 (以下各表とも同じ)

第 2 節 地 積

(R 7 年 9 月現在) (第 2 表)

事 業 名	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	宅 地 (ha)	山 林 (ha)	そ の 他 (ha)	計 (ha)	備 考
	市町村名							
農村地域防災減災事業 用排水施設整備事業(小規模)	伊 勢 市	7.5	23.7	-	-	-	31.2	[機能保全対策工事]
合 計		7.5	23.7	-	-	-	31.2	

注) 1. 「地積」は土地登記簿地積(畦畔地積含む) なお換地計画を伴う事業は実測(図上)単位は県営事業の場合、小数点以下四捨五入
団体営事業の場合、小数点以下2位四捨五入
2. 「合計」欄は二以上の土地改良事業の重複面積がある場合の実面積(以下各章同じ)

第 3 章 現 況

第 1 節 気象及び海象

1. 一般気象

(第 3 表 - 1)

観測所名	小俣 観測所	かんがい期	非かんがい期	計	備 考
観測期間	H5年～R6年	4月～9月	10月～3月	又は平均	
平均気温(°C)		22.2	9.2	15.7	
降水量	平均(mm)	1,216.7	652.8	1,870	
	基準年(mm)	—	—	—	用水計画基準年 一年
降水日数	平均(日)	64.8	41.5	106	
	基準年(日)	—	—	—	
根雪期間		一月一日～一月一日		—日間	
無霜期間		3月10日～12月10日		276日間	津気象台
最多風向		西北西	最大風速 (風向)	19.9 m/s 東北東	最多風向 発生時期 12月～2月 最大風速 発生年月日 H21年 10月 8日

2. 特殊気象

(第 3 表 - 2)

観測所名	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			備考
	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
小俣 観測期間 H5年～R6年																
最大日雨量(mm)	437.5	H29.10.22	—	323.5	R5.6.2	—	306	H12.9.11	—	267	H9.7.26	—	237	H11.6.29	—	
最大時間雨量(mm)	97	H11.6.29	—	81	H30.9.4	—	69.5	H29.10.22	—	62.5	H21.11.11	—	56.5	H22.10.9	—	
最大4時間雨量(mm)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
最大連続雨量(mm)	711.5	H29.10.14 ～10.25	—	524.5	H12.9.8 ～9.16	—	460	R6.8.25 ～9.2	—	362.5	R5.5.29 ～6.3	—	327	H19.7.10 ～7.17	—	
最大連続干天日数(日)	88	H7.11.21 ～H8.2.16	—	63	H17.11.12 ～H18.1.13	—	53	H22.12.23 ～H23.2.13	—	45	H23.12.5 ～H24.1.18	—	42	H10.12.8 ～H11.1.18	—	日雨量5mm未満を干天日

3. 海 象

(第 3 表 - 3)

観測所名	鳥羽検潮所	既往最高潮位	さく望平均満潮位	上下弦平均満潮位	平均潮位	上下弦平均干潮位	さく望平均干潮位	既往最低潮位	備考
観測期間	H10年～R6年	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	
実 測 値		1.90	0.95	—	—	—	-1.17	—	外城田川に排水するため参考に計上した

注)「海象」は海に排水する計画の場合。

第 2 節 土 地 状 況

1. 地形、土壌及び浸食の程度

(第 4 表 1 - 1)

事業名	地目 傾斜区分	田						畑・その他						受益地標高(m)		備考		
		1/1000 以下	1/1000 ~ 1/100	1/100 ~1/20	1/20~ 1/11.5	1/11.5 以上	計	3°以下	3°~8°	8°~15°			15°~ 20°	20°以 上	計		最高	最低
										8°~10	10°~15	8°~15						
農村地域防災減災事業 用排水施設整備事業 (小規模)	面積(ha)	7.5					7.5	23.7							23.7	2.50	-0.20	
	比率(%)	100					100	100							100			
計	面積(ha)	7.5					7.5	23.7						23.7				
	比率(%)	100					100	100						100				

注) 「畑・その他」欄は開畑に係る傾斜が8°~15°の場合。8°~10°、10°~15°に区分。既耕地を対象とする事業は8°~15°

(第 4 表 1 - 2)

項目 土壌統(区)名	土 壌 統 (区) 区 分 一 覧 表										面 積 (ha)				備考			
	土 壌 断 面										事 業 名							
	色	腐植	礫層	酸化 沈殿物	土 性			泥炭層 黒泥層及び グライ層	堆積様式	母材	合計							
					表土 一層	下層土 二層	三層											
計																		

注) 「土壌統(区)名」欄は水田にあっては施肥改善事業における土壌区、畑・未墾地にあっては地力保全事業における土壌統。

(第 4 表 1 - 3)

事業名	区分	土 壌 の 流 亡 率 (%)				年 平 均 流 亡 速 度			ガリ浸食の程		備考	
		0	0 ~ 25%	25 ~ 50%	50% 以上	0	3mm未満	3 ~ 5mm	5mm以上	中程度のもの		大なるもの
	面積(ha)											
	比率(%)											

2. 土地分類

(第4表2-1)

市町村名	農用地造成地 (ha)										計 (ha)	備考
	一級地	二級地			三級地			四級地				
	傾斜外	3～8	8～12	12～15	傾斜外	15～20	20～25	25～30	傾斜外	30以上		
計												

(第4表2-2)

市町村名	干拓地 (ha)					備考
	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
計						

3. 土地利用の状況

(R7年9月現在) (第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村別	耕地							山林		採草放牧地 (ha)	非農用地 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	桑園 (ha)	茶園 (ha)	その他の樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
農村地域防災減災事業用排水施設整備事業(小規模)	伊勢市	7.5	23.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31.2	
合計		7.5	23.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31.2	

注) 「団体営事業の土地利用状況」は、かんがい排水、ほ場整備のうち用水源、排水ポンプを設置する場合。

4. 土地所有の状況

(第4表-4)

区分	農村地域防災減災事業用排水施設整備事業(小規模)										合計	備考		
	個人有	部落有	県市町村有	国有	計	個人有	部落有	県市町村有	国有	計				
面積 (ha)	31.2		-		31.2								31.2	
受益者数 (人)	191		-		191								191	
筆数 (筆)														
権利関係	191				191								191	
関係戸数	191				191								191	

注) 「団体営事業」の土地所有状況は、農地開発事業の場合。

第 3 節 水 利 状 況

2. 排 水 状 況

本地区の東豊浜排水機場は昭和49年度に造成され、外城田川沿いの流域A=97.7haの流出量を東豊浜排水機場にて外城田川に排水している。

現況の排水状況については、浦の山樋門(B1.80×H2.40×1連)墓の浦樋門(B1.80×H2.40×2連)東豊浜排水機場(Φ900mm)及び東豊浜第二排水機場(Φ800mm、Φ600mm)により外城田川に排除されているが、当初整備されたポンプの老朽化により排水機能が低下している。

また、樋門の排水能力は潮位の干満によって大きく変化し、地区内の田面も低いことから東豊浜排水機場の排水能力が影響する。

(1) 排 水 系 統

別紙「現況排水系統図」参照

(2) 排 水 施 設

(ア) 排 水 方 法 一 覧 表

(第 5 表 - 4)

事業名	項目 施設名		排 水 面 積								排水慣行	現況排水能力 (m ³ /s)	備 考
			100ha以上		100ha～30ha		30ha未満		計				
	区分	施設名	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha			
農村地域防災減災事業 用排水施設整備事業 (小規模)	自然	水門及び樋管			2	97.7			2	97.7		4.29	浦の山排水樋門 墓の浦排水樋門
	機械	排水機			1	97.7			1	97.7		1.20	東豊浜φ900
	機械	排水機			2	97.7			2	97.7		1.80	東豊浜第二φ800、φ600
	計				5	97.7			5	97.7		3.00	
合 計				5	97.7			5	97.7		3.00		

注) 1. 「区分」欄は自然・機械排水の区分、「施設名」欄は自然排水は排水路・水門に細区分、機械排水は排水機・水門及び排水機に細区分。((イ)表とも同じ。)
2. 「排水面積」欄の「排水路」は排水路のみの自然排水、「水門」は排水路と水門の併用自然排水、「排水機」は排水路と排水機による自然排水及び機械排水
「水門及び排水機」は排水路、水門、排水機による自然排水及び機械排水。((イ)表とも同じ。)

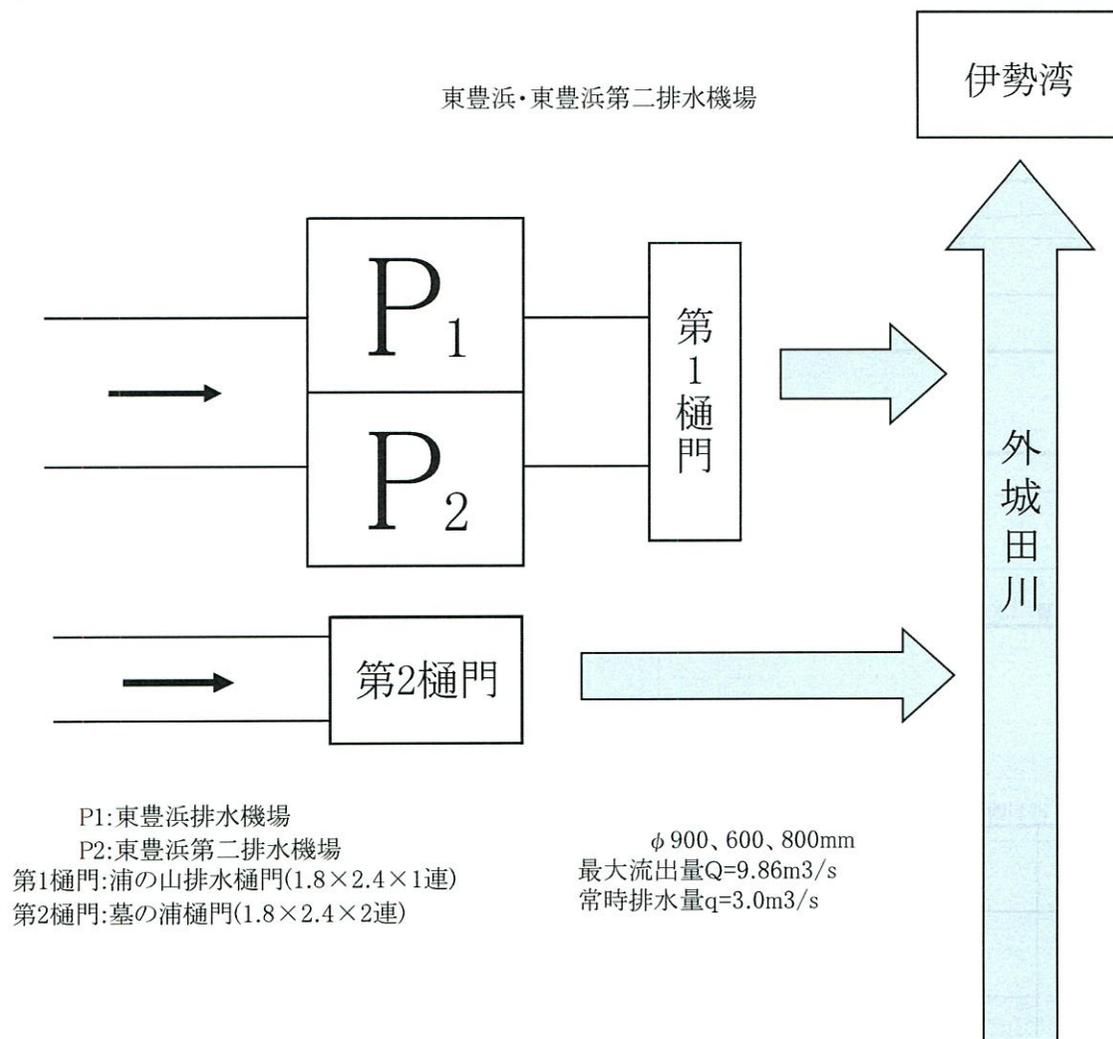
(イ) 改 修 を 要 す る 施 設 一 覧 表

(第 5 表 - 5)

事業名	項目		施設名又は 箇所	受益面積	構 造	規 模	新設又は更新年	改修を必要とする理由	備 考
	施設名								
農村地域防災減災事業 用排水施設整備事業 (小規模)	機械	排水機	東豊浜	31.2	横軸軸流	φ900	S48～S49	施設長寿命化計画に基づく 機能保全対策	
合 計									

注) 排水路の「箇所数」欄は系統数、「規模」欄は末端までの延長(単位m)。

現況排水系統図



(3) 排水に関する被害状況

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)		湛水状況				乾湿状況 (ha)						平均減産量		備考
					湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m3)	田		畑		その他		作物名	減産量(t)	
									乾	湿	乾	湿	乾	湿			
農村地域 防災減災事業 用排水施設 整備事業 (小規模)	東豊浜 東豊浜 第二	97.7	平均												水稻	0.8	
			基準年	410.3	25	13	30.3	75.75							ねぎ	0.9	
																ガーベラ	109.6(千本)
計			平均														
			基準年	410.3	25	13	30.3	75.75									
合計			平均												水稻	0.8	
			基準年	410.3	25	13	30.3	75.75							ねぎ	0.9	
															ガーベラ	109.6(千本)	

注) 1. 団体営事業の場合の「降水量」、「たん水状況」欄は基準年。「平均減産量」、「平均維持管理費」欄は記入の要なし。
2. 「たん水状況」欄の()数値は許容たん水水位以上。

3. 河川状況

(1) 河川の状況

特記事項なし

(第5表-7)

河川名	項目	流路状況	勾配	断面	計画洪水量 (m3/s)	既往最大洪水量 (m3/s)	備考

注) 防災事業のうちダムのある場合。

(2) 洪水に関する被害状況

(第5表-8)

区分	項目	農用地 (千円)	農用施設 (千円)	作物 (千円)	公共施設 (千円)	備考
過去の最大被害額						降雨名 : 起生年月日 : H 年 月 日 ~ 月 日
平均被害額						算定期間 :

注) 農地保全是「土壌の浸食に関する被害状況」。

第6節 地域環境の概況

計画地域は、伊勢市田園環境整備マスタープランで環境配慮区域に位置づけられている。

計画地域は、伊勢市の北部に位置し、外城田川と宮川に挟まれた臨海地帯である。

この地域一帯の耕地がほとんど対象地域である。また、河口部に近い関係により一般に平坦な低湿地地帯であり、外城田川に直接放流している。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要旨

事業の要点 ----- 施設長寿命化計画に基づく機能保全対策を実施し、施設機能の効率的な保全を図る。
 (機能保全対策工事)
 上位関連事業との関連 ----- 該当事項なし

2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用区分	農村地域防災減災事業 用排水施設整備事業(小規模)												計 (ha)	備考					
	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)							
事業目的 用排水施設	7.5	23.7	-	-	-	31.2											31.2		
合計	7.5	23.7	-	-	-	31.2											31.2		

注) 1. 「事業目的」欄は用水改良、排水改良、畑地かんがい、区画整理、暗渠排水客土、農道等の区分。
 2. 「事業名」欄はほ場整備、農道整備、農地防災、農用地開発等事業計画名の区分。

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

特記事項なし

経営方式 -----
 経営組織 -----
 作業体系 -----
 作付体系 -----

第 4 節 排 水 計 画

1. 計画基準雨量 (基本事業による)

日雨量 255.1 mm (1/10年) 295.0 mm (1/20年)

3日連続雨量 349.1 mm (1/10年) 410.3 mm (1/20年)

2. 計画排水方式

排水別	項目	計画雨量 (mm)		流出率 (%)	排水計算方式	計画内水位 (m)		計画外水位 (m)		備考
		雨量	確率			基準田面	許容湛水深	外水位	河川名	
基幹排水	自然排水									
	機械排水	410.3	1/20	81.9	総合単位図法	-0.20	0.20	-	外城田川	
末端排水						地下水排除計画				

3. 計画排水系統

別紙「計画排水系統図」参照 注)系統は系統名、Aは排水面積、Qは排水量、()は排水慣行。

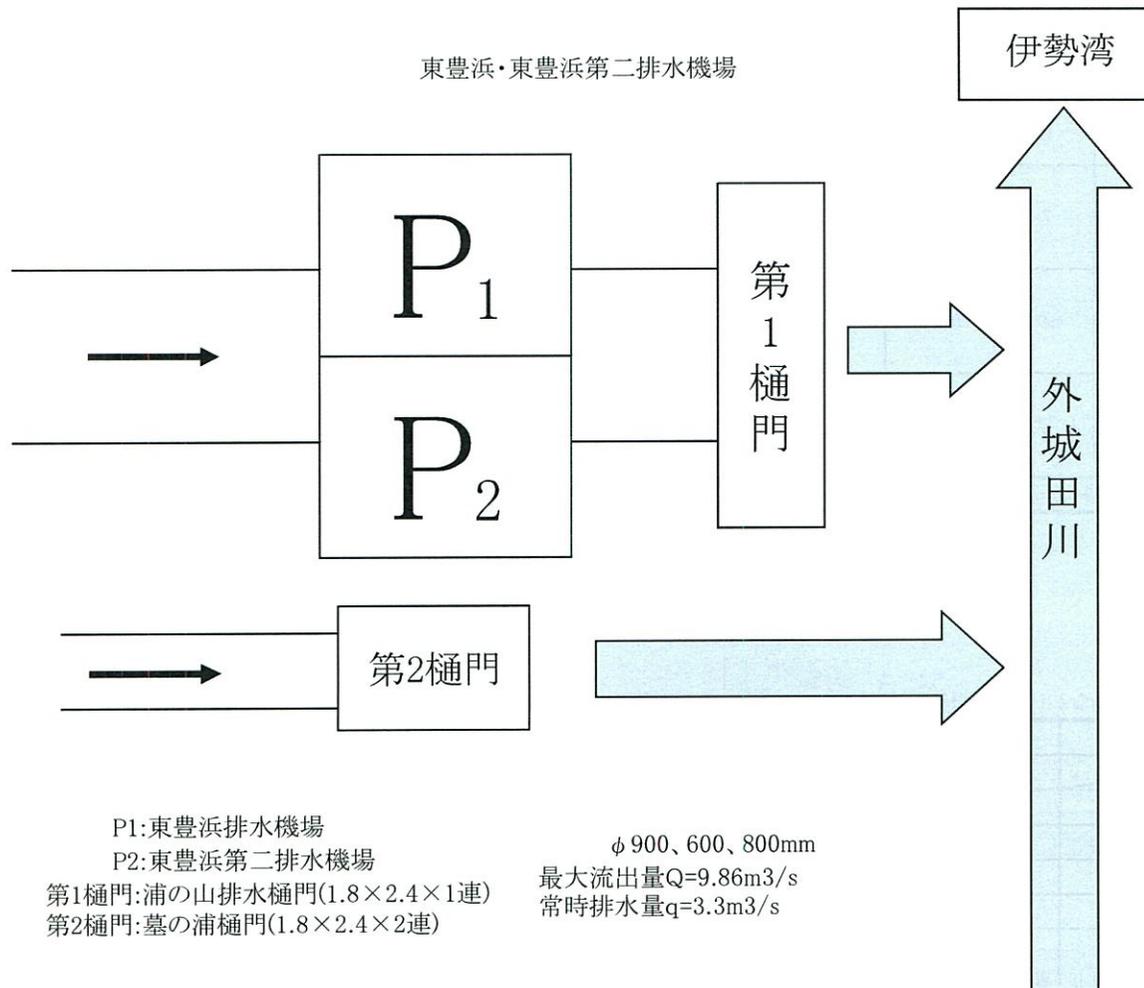
4. 計画排水量

(第 11 表 - 1)

排水系統名	受益面積 (ha)		流域面積 (km ²)		基準雨量 (mm)	降雨による直接単位流出量 (m ³ /s/km ²)		基底流出量 (m ³ /s)		全排水量 (m ³ /s)			単位排水量 (m ³ /s/km ²)		備考	
	事業名		山地	平地		山地	平地	山地	平地	山地	平地		山地	平地		
	農村地域防災減災事業用排水施設整備事業(小規模)	計									自然排水	機械排水				
東豊浜第二	31.2	31.2	-	0.98	410.3	-	0.25	-	0.02	-	4.29	3.30	-	3.4	4.39	
計																

注) 「全排水量」欄は最大値、なお自然排水と機械排水併用あるいは切替る場合はそれぞれの最大値。

計画排水系統図



5. 排水対策

(1) 排水水門

該当なし

(第11表-2)

項目	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)		計画排水量 (最大)		排水本線 (計画排水路)			廃止、既設利用 改修、新設の別	備考
		事業名		排水量 (m ³ /s)	地区内湛水深 (m)	排水量 (m ³ /s)	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m ³ /s)		
			計							
計										

注) 「流域面積」欄は水門の支配する流域、「地区内湛水深」欄は計画許容たん水深。また備考はそれ以上ある場合。

(2) 排水機

(第11表-3)

項目 排水系統名	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)		計画排水量 (最大)		排水機				廃止、既設 利用改修、 新設の別	日最大 運転時間 (hr)	備考
		事業名		排水量 (m ³ /s)	地区内湛水深 (m)	実揚程 (m)	排水量 (m ³ /s)	台数 (台)	全排水量 (m ³ /s)			
			計									
東豊浜	0.98	31.2	31.2	1.50	0.43	2.05	1.20	1	1.20	更新	3	横軸軸流
東豊浜第二	0.98	31.2	31.2	1.80	0.43	2.40	1.80	2	1.80	既設利用	18	横軸軸流
計	0.98	31.2	31.2	3.30				3	3.00			

第5章 主要工事計画

第2節 排水施設

1. 排水水門

該当事項なし

(第18表-1)

項目 名称	位置	型式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水量 (m ³ /s)	備考

- 注) 1. 「型式」欄はスルース等その機能による分類、「構造」欄はゲート規模、数量。
2. 「内水位」欄は地区内の水門に接した計画最高水位、「外水位」欄は水門外側の計画最高水位。

2. 排水機

(第18表-2)

項目 名称	位置	排水量 (m ³ /s)	揚程 (m)		排水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力	台数 (台)	
東豊浜排水機場	東豊浜	1.50	2.50	2.05	横軸軸流	φ900	1	エンジン	80ps	1	
合計		1.50					1			1	

- 注) 「排水量」・「揚程」欄は計画値、「排水機の型式」欄は軸流、斜流、渦巻等の種別、「原動機の型式」欄は電動機、内燃機関の別。

第 6 章 附 帯 工 事 計 画 (補償工事) ----- 注)項目ごとの型式規模、構造の諸元。

該 当 項 目 な し

第 7 章 工 事 の 着 手 及 び 完 了 の 予 定 時 期

着 手	令和	8	年度
完了予定	令和	11	年度

第 8 章 環境との調和への配慮

本地区の環境配慮対策は環境配慮区域とし、出来るだけ現在の環境を維持するよう下記の対策を行う。

【施工上の配慮】 ・工事においては施工機械による騒音、排気ガスに注意し、周辺に影響を与えないようにする。

・工事に使用する機械は、排出ガス対策型とする。

・排水機場の補修工事において、現状の周辺環境への影響を極力抑えた工事とする。

・保全生物のミナミメダカ(NT)が発見された場合は工事範囲外へ移動させる。

第 10 章 事業費の総額及び内訳

(第 2 6 表)

区分	事業名	農村地域防災減災事業 用排水施設整備事業(小規模)	備 考
主 要 工 事		442,000	令和7年度単価 (千円)
附 帯 工 事		—	
地 方 事 務 費		22,100	
計		464,100	
関 連 事 業 参 考	国・公団営	—	
	県 営	—	
	団 体 営	—	
	そ の 他	—	
	計	—	

注) 関連事業は効用に関するもの。又、共同事業がある場合の費用振分けの内訳は別紙添付。

主要工事の内訳

事業種・工種	事業量	事業費 (千円)	10a当り単価(千円)	主要工事諸元等	備考
1.工事費					
東豊浜 排水機場					
土 木 ・ 建 屋	ひび割れ等補修	16,000	51	—	
ポ ン プ 施 設	主ポンプ、原動機、減速機、補機類	251,304	805	—	
水 門 設 備	開閉装置、機側操作盤	11,000	35	—	
電 気 設 備	直流電源盤、補器類	104,950	336	—	
1.工事費 消費税	10%	38,325	123		
小 計		422,000	1,350		
2.測量試験費	実施設計費	20,000	64		
計		442,000	1,414		
3. 地方事務費	5.0%以内	22,100	71		
合 計		464,100	1,485		

土地改良一般

(第 27-1 表)

事 業 名	項 目		年総効果(便益)額 (千円)	年増加農業所得額 (千円)	備 考
	区分				
農村地域防災減災事業 用排水施設整備事業(小規模)	作物生産効果		3,179	2,930	令和7年度単価 総費用(現在価値化) 1,539,044 千円
	維持管理費節減効果		△ 788	△ 754	
	災害防止効果 (農業関係資産)		72,388	3,494	
	災害防止効果 (一般資産)		40,370	—	総便益額(現在価値化) 2,938,735 千円
	災害防止効果 (公共資産)		28,437	1,339	
	国産農産物安定供給効果		53	—	
	計		143,639	7,009	
					1.90 ≧ 1.0

ため池等整備、湛水防除(決壊被害防止効果或いは土砂崩壊防止効果、用水不足解消による減産防止効果)

(第 27-2 表)

事 業 名	区 分	災害防止年効果額 (千円)	減 産 額 (千円)		備 考
			貯水制限	漏水	
農村地域防災減災事業 用排水施設整備事業(小規模)	農地被害	53,273	-		令和7年度単価
	農業用施設被害	32,358			
	農作物被害	15,210			
	農漁家被害				
	小 計	100,841	-		
	公共施設被害	2,993			
	一般資産被害	8,953			
	小 計	11,946	-		
	計	112,787			
人 名(人)	—				

第 12 章 関連する事業

(第 28 表)

事業名	事業主体	受益面積(ha)	事業内容
農村地域排水対策事業	三重県	30.3	自家発電設備 1式、除塵設備 1式

第 13 章 現況・計画図面

1. 現況平面図

(別添)

2. 計画平面図及び土地利用計画図

(別添)

3. 主要構造図

(別添)

- 注)
1. 位置図は1/50,000程度地形図。
 2. 現況平面図及び計画平面図は1/1,000～1/5,000程度。ただし換地を行う事業は1/1,000程度。
 3. 主要構造図はA3程度。
 4. 図面の凡例は「用水補給地」薄赤色、「畑かん地域」黄色、「田畑輪換地域」オレンジ色、「用水路」朱色、「排水路」紺色、「排水受益地域」青色、「集水面積」薄青色、「洪水防止地域」薄紫色。

第 14 章 土地改良施設の管理者及び管理方法

第 1 節 予定管理者

- ・伊勢市

第 2 節 管理すべき施設の種類

東豊浜排水機場 (φ900mm × 80ps × 1基)

第 3 節 貯水、放流、取水又は排水に関する基本的事項

- ・東豊浜排水機場の運転管理については、操作基準を設けて運用する。

第 4 節 管理に要する費用の概要及びその負担方法

(1) 管理すべき施設

東豊浜排水機場 (φ900mm × 80ps × 1基)

(2) 計画年維持管理経費

千円
1,007 (施設の維持管理経費)

(3) 負担方法

- ・伊勢市負担

第 5 節 その他管理方法に関する基本的事項

特記事項なし

第 15 章 事業費の細目及び資金計画

第 1 節 事業費の細目

細 目	工 事 内 容	金 額 (千円)
東豊浜排水機場	建屋工、ポンプ施設、 水門設備、電気設備等	422,000
測量設計費	測量業務、設計業務	20,000
用地買収及び補償費	—	
全体実施設計費	一式	
予備費	—	
事業費 計		442,000
事務費	一式(5%以内)	22,100
合 計		464,100

第 2 節 資 金 計 画

(1) 負担区分の予定割合

	事業費(千円)	負 担 区 分			
		国 (%)	県 (%)	市町村 (%)	地元 (%)
工 事 費	442,000	55 243,100千円	33 145,860千円	12 53,040千円	—
事 務 費	22,100	—	100 22,100千円	—	—
合 計	464,100	243,100千円	167,960千円	53,040千円	

(2) 地元負担の予定基準

・地元負担金 53,040千円を土地改良法第91条第6項の規定に基づき伊勢市が負担し、県へ納入する。

(3) 特別徴収金

この土地改良事業の施行に係る地区内の農地が、この事業の工事の完了の公告の日の属する年度の翌年度(その年度が到来する以前に知事が年度を指定する場合にあっては、当該指定に係る年度)から起算して8年を経過しない間に転用されたことに伴い、この事業につき交付を受けた補助金のうち当該転用農地に係るものを返還するには、当該転用農地につき土地改良法第3条に規定する資格を有するものから賦課金を徴収する。

令和8年度 新規採択希望 農村地域防災減災事業 用排水施設整備事業（小規模） 東豊浜地区

計画一般平面図

S=1:25,000



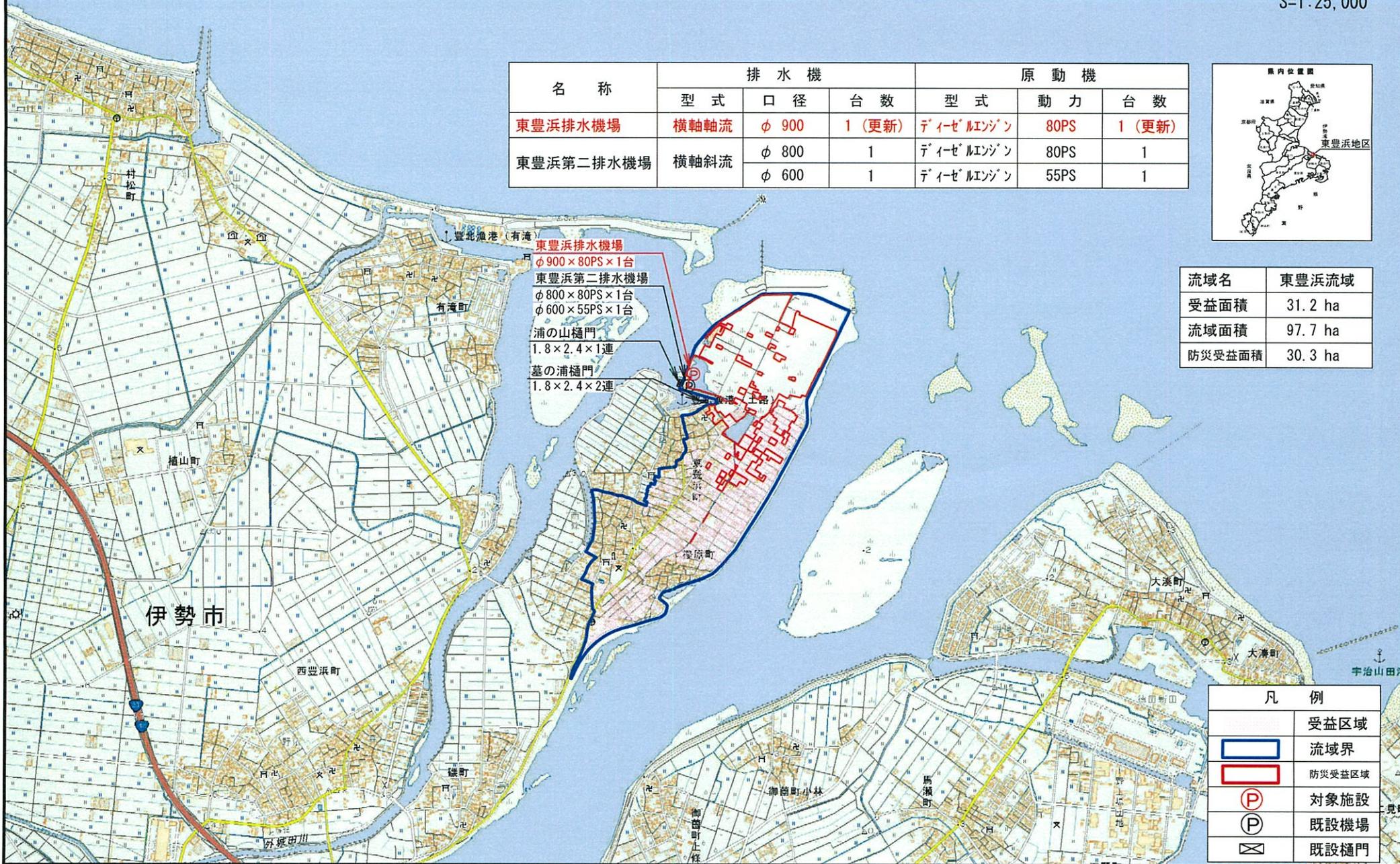
名称	排水機			原動機		
	型式	口径	台数	型式	動力	台数
東豊浜排水機場	横軸軸流	φ 900	1 (更新)	ディーゼルエンジン	80PS	1 (更新)
東豊浜第二排水機場	横軸斜流	φ 800	1	ディーゼルエンジン	80PS	1
		φ 600	1	ディーゼルエンジン	55PS	1



流域名	東豊浜流域
受益面積	31.2 ha
流域面積	97.7 ha
防災受益面積	30.3 ha

東豊浜排水機場
φ 900 × 80PS × 1台
東豊浜第二排水機場
φ 800 × 80PS × 1台
φ 600 × 55PS × 1台
浦の山樋門
1.8 × 2.4 × 1連
墓の浦樋門
1.8 × 2.4 × 2連

凡 例	
	受益区域
	流域界
	防災受益区域
	対象施設
	既設機場
	既設樋門



旧況排水系統図



A1サイズ S=1:3,000

東豊浜排水機場
φ900×80PS×1台

東豊浜第二排水機場
φ800×80PS×1台
φ600×55PS×1台

浦の山樋門
1.8×2.4×1連

墓の浦樋門
1.8×2.4×2連

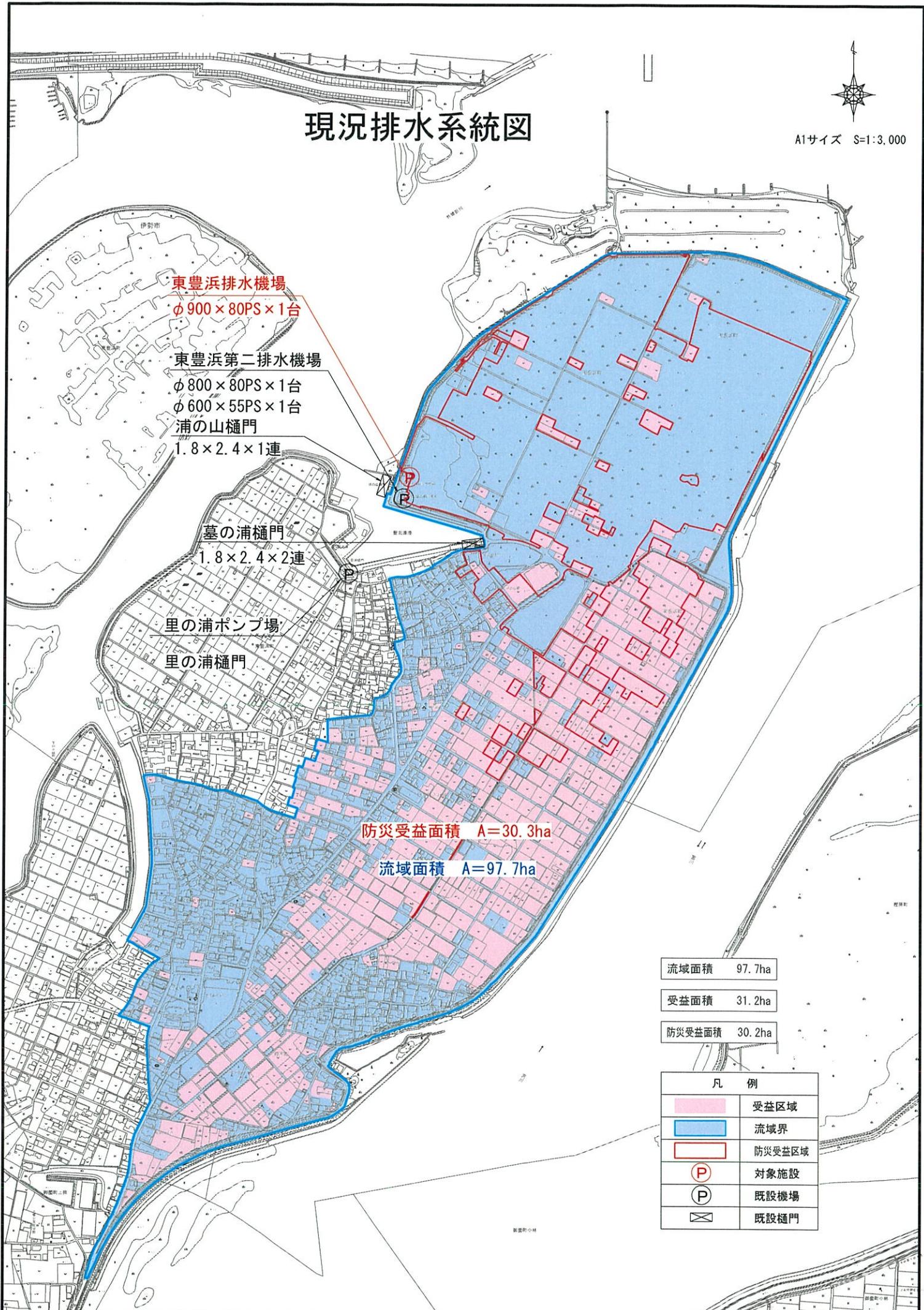
防災受益面積 A=41.0ha

流域面積 A=95.6ha

凡 例	
	防災受益区域
	流域界
	対象施設
	既設機場
	既設樋門

現況排水系統図

A1サイズ S=1:3,000



東豊浜排水機場
φ 900 × 80PS × 1台

東豊浜第二排水機場
φ 800 × 80PS × 1台
φ 600 × 55PS × 1台
浦の山樋門
1.8 × 2.4 × 1連

墓の浦樋門
1.8 × 2.4 × 2連

里の浦ポンプ場

里の浦樋門

防災受益面積 A=30.3ha

流域面積 A=97.7ha

流域面積 97.7ha

受益面積 31.2ha

防災受益面積 30.2ha

凡 例	
	受益区域
	流域界
	防災受益区域
P	対象施設
P	既設機場
⊠	既設樋門

計画排水系統図

A1サイズ S=1:3,000



東豊浜排水機場
φ900×80PS×1台

東豊浜第二排水機場
φ800×80PS×1台
φ600×55PS×1台

浦の山樋門
1.8×2.4×1連

墓の浦樋門
1.8×2.4×2連

防災受益面積 A=28.0ha

流域面積 A=97.7ha

流域面積 97.7ha

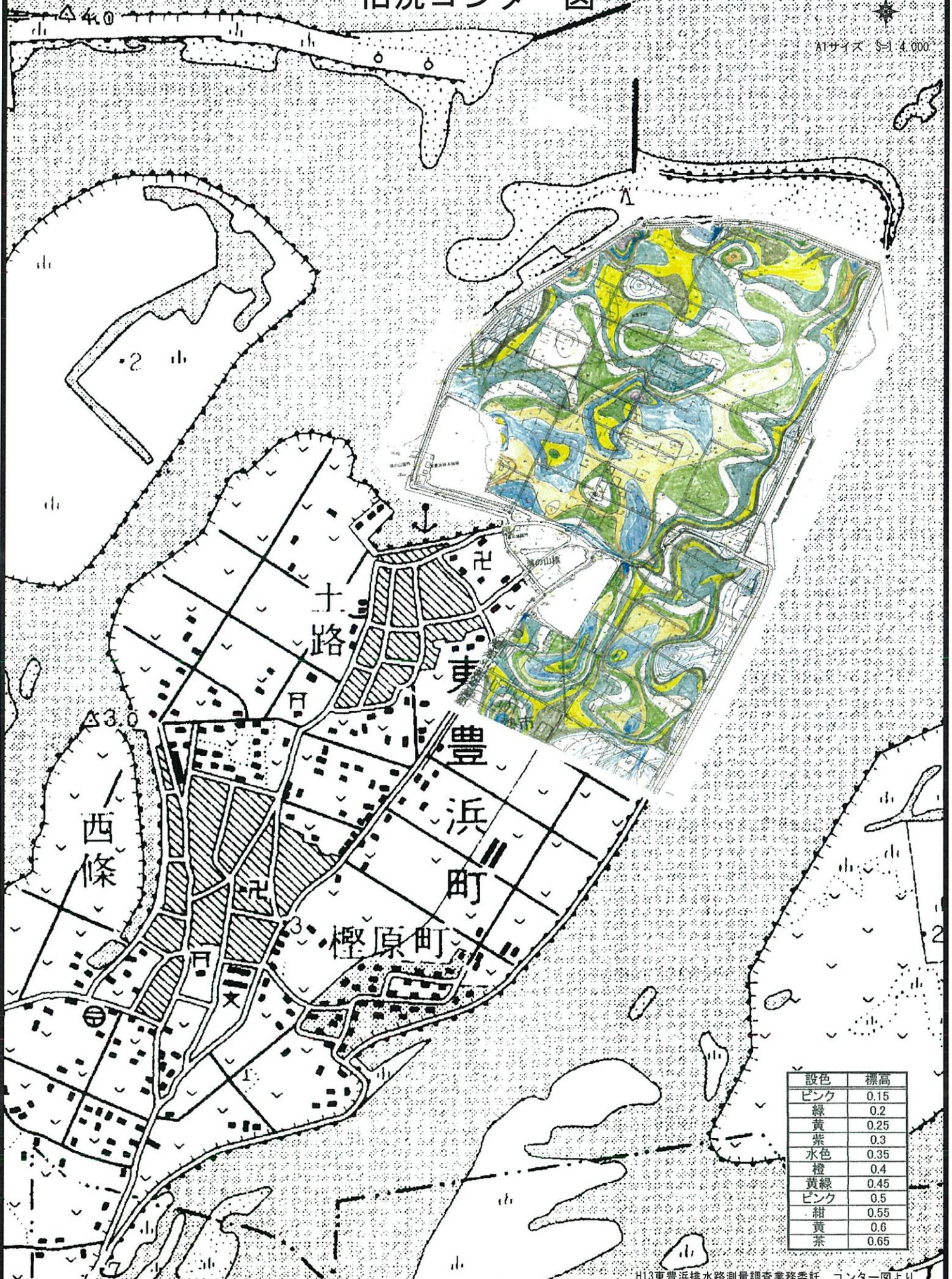
受益面積 31.2ha

防災受益面積 28.0ha

凡 例	
	受益区域
	流域界
	防災受益区域
	対象施設
	既設機場
	既設樋門

旧況コンター図

A1サイズ S=1/4,000



設色	標高
ピンク	0.15
緑	0.2
黄	0.25
紫	0.3
水色	0.35
橙	0.4
黄緑	0.45
ピンク	0.5
紺	0.55
黄	0.6
茶	0.65

現況コンター図



A1サイズ S=1:3,000

東豊浜排水機場

φ 900×80PS×1台

東豊浜第二排水機場

φ 800×80PS×1台

φ 600×55PS×1台

浦の山樋門

1.8×2.4×1連

墓の浦樋門

1.8×2.4×2連



想定被害説明図



A1サイズ S=1:3,000

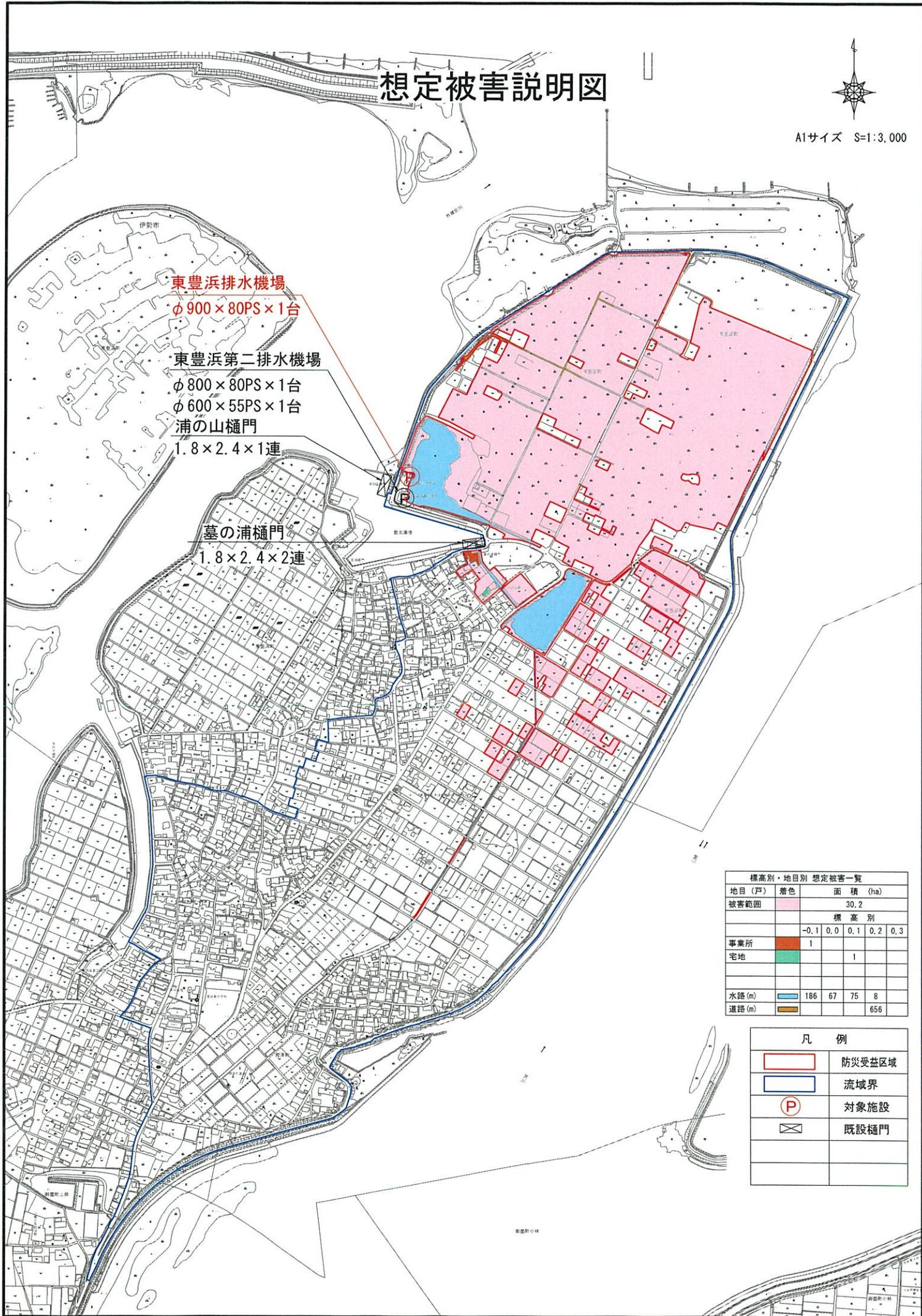
東豊浜排水機場
 $\phi 900 \times 80PS \times 1$ 台

東豊浜第二排水機場
 $\phi 800 \times 80PS \times 1$ 台
 $\phi 600 \times 55PS \times 1$ 台
 浦の山樋門
 $1.8 \times 2.4 \times 1$ 連

墓の浦樋門
 $1.8 \times 2.4 \times 2$ 連

標高別・地目別 想定被害一覧						
地目(戸)	着色	面積 (ha)				
被害範囲	赤	30.2				
標高別						
		-0.1	0.0	0.1	0.2	0.3
事業所	茶	1				
宅地	緑		1			
水路(m)	青	186	67	75	8	
道路(m)	黄				656	

凡 例	
	防災受益区域
	流域界
	対象施設
	既設樋門



農振土地利用計画図

A1サイズ S=1:3,000

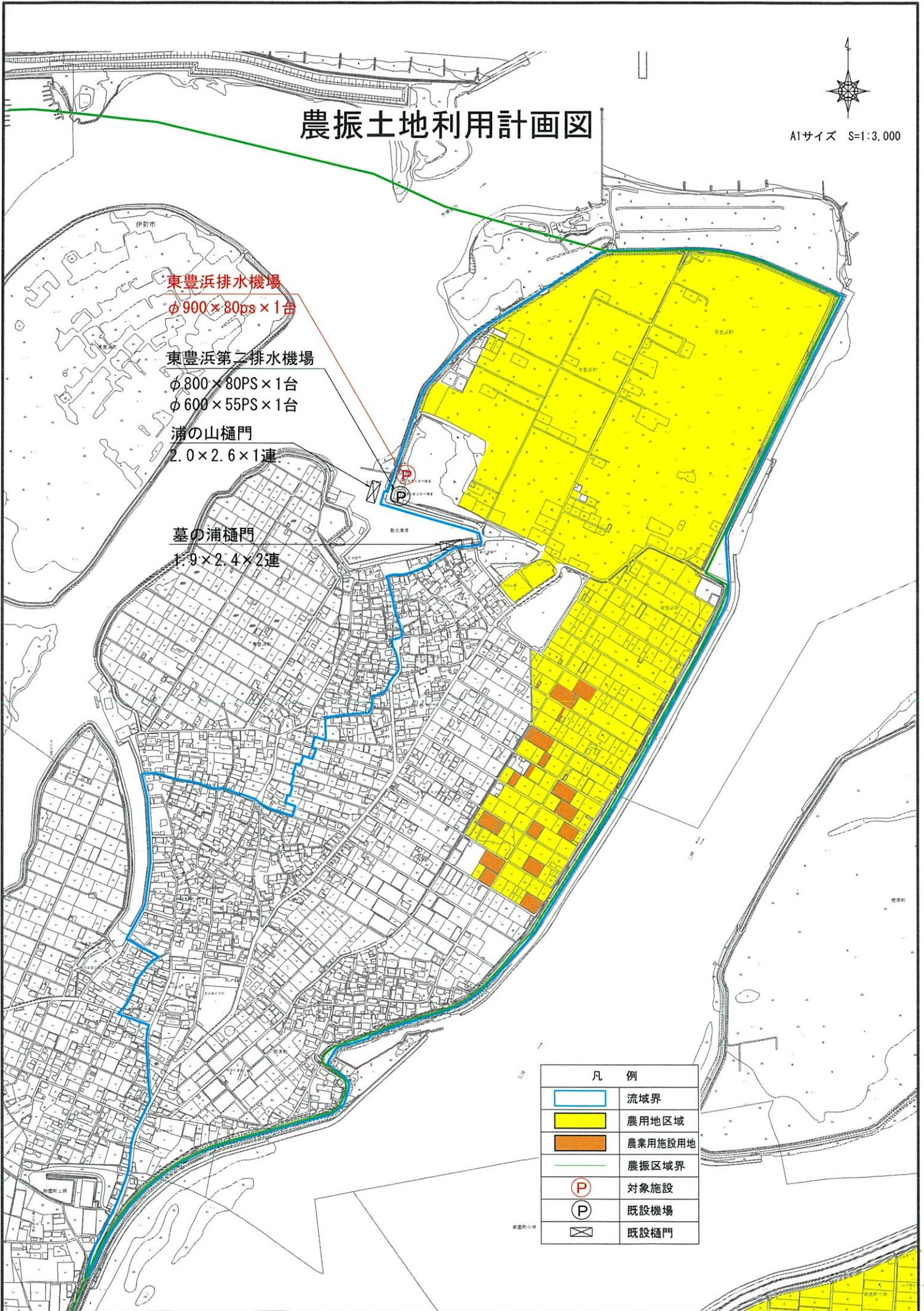
東豊浜排水機場
 $\phi 900 \times 80ps \times 1台$

東豊浜第二排水機場
 $\phi 800 \times 80PS \times 1台$
 $\phi 600 \times 55PS \times 1台$

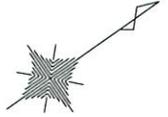
浦の山樋門
 $2.0 \times 2.6 \times 1連$

墓の浦樋門
 $1.9 \times 2.4 \times 2連$

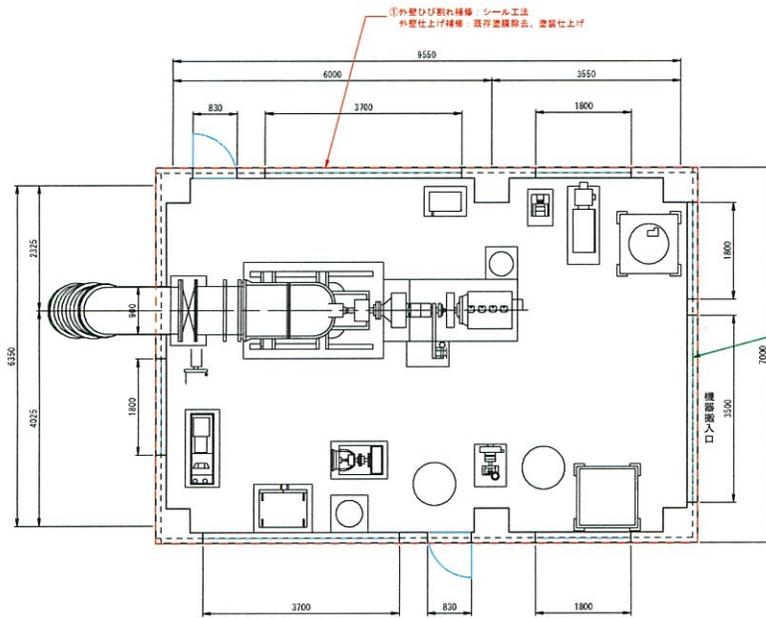
凡	例
	流域界
	農用地区域
	農業用施設用地
	農振区域界
	対象施設
	既設機場
	既設樋門



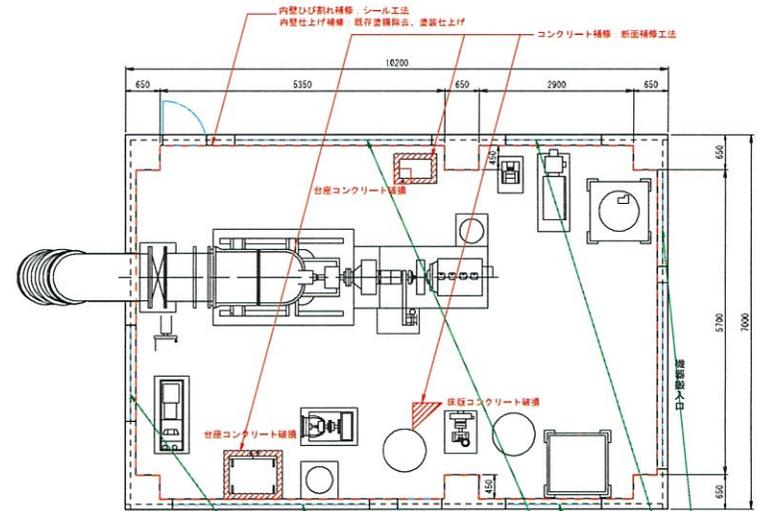
東豊浜排水機場建屋 対策工法図(1)



建物外部 対策平面図
S=1:50



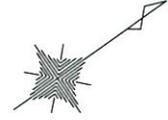
建物内部 対策平面図
S=1:50



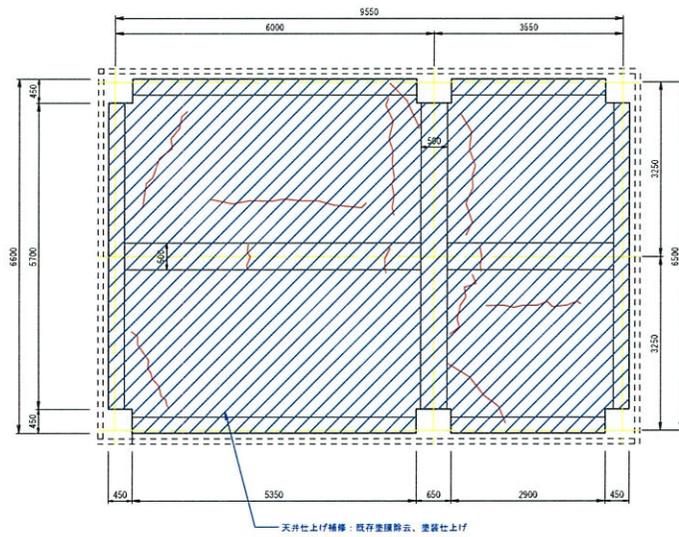
凡 例	
記 号	名 称
— (dashed red line)	ひび割れ
— (blue line)	漏水 (感跡)
— (blue shaded area)	浮き
— (red hatched area)	割壊・剥落

工事名	令和7年度 河防委 第1号 東豊浜排水機場事業計画書修正業務委託
図面名	東豊浜排水機場建屋 平面図
作成年月日	令和 7年 6月 10日
縮尺	S=1:50(A1) 図面番号 建-1
会社名	株式会社 若 鈴
事業者名	三重県伊勢市役所 産業観光部 緑水管理課

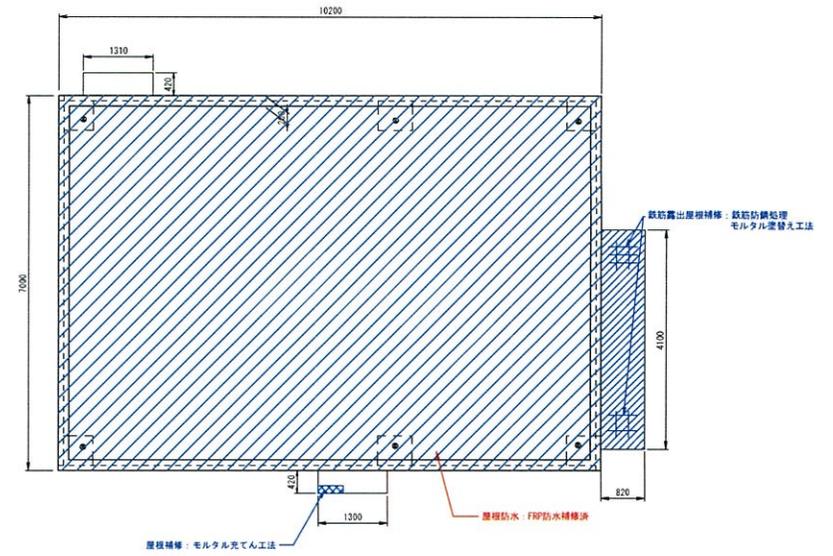
東豊浜排水機場建屋 対策工法図(2)



天井伏図
S=1:50



屋根伏図
S=1:50

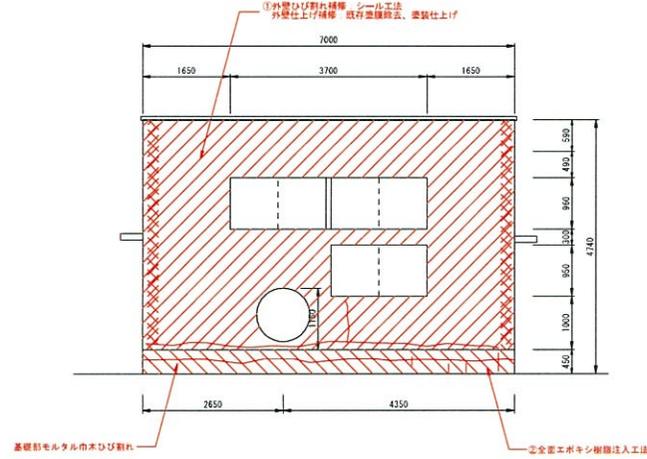


凡 例	
記 号	名 称
—	ひび割れ
—	漏水 (痕跡)
□	浮き
⊗	割離・割捨

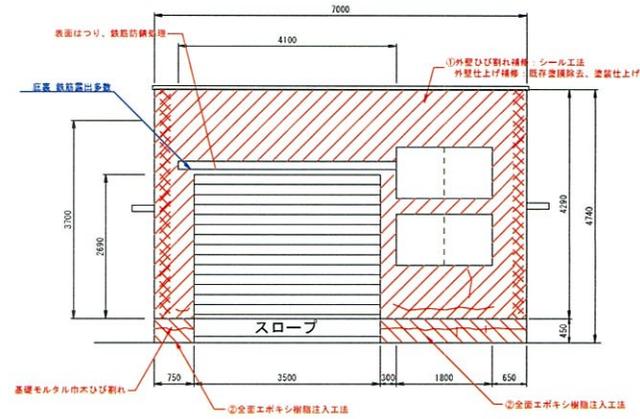
工事名	令和7年度 道筋第 第1号 東豊浜排水機場等計画管理正業務委託
図面名	東豊浜排水機場建屋 天井伏図、屋根伏図
作成年月日	令和 7年 6月 10日
縮尺	S=1:50(A1) 図面番号 建-2
会社名	株式会社 彩 鈴
専業者名	三重県伊勢市役所 産業経営部 農林水産課

東豊浜排水機場建屋 対策工法図(3)

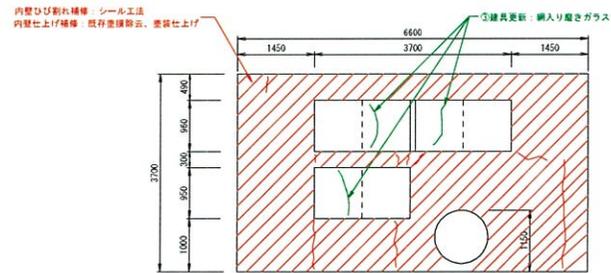
側面図(南外側)



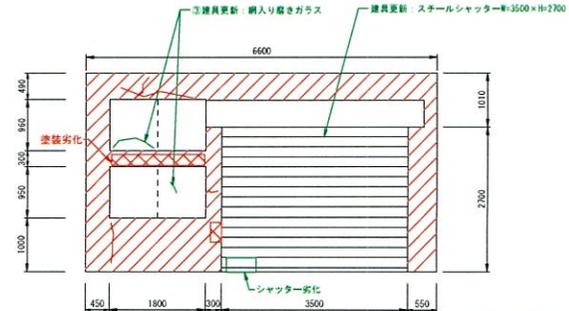
側面図(北外側)



側面図(南内側)



側面図(北内側)

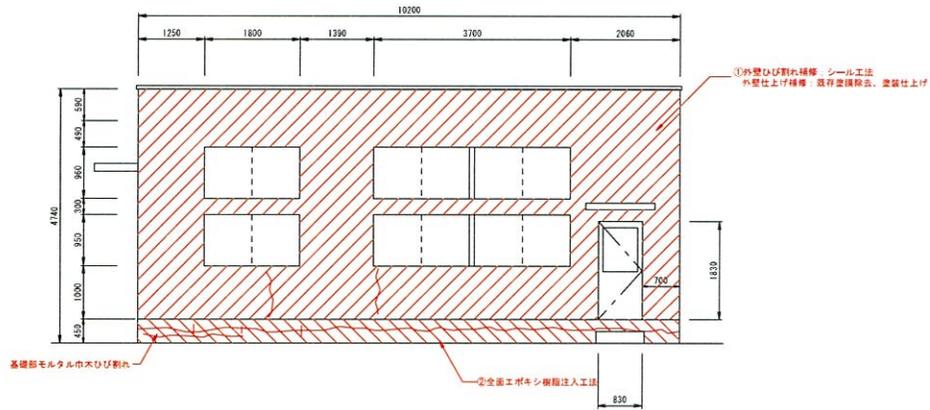


凡 例	
記 号	名 称
—	ひび割れ
—	漏水(痕跡)
□	浮き
⊗	割離・剥離

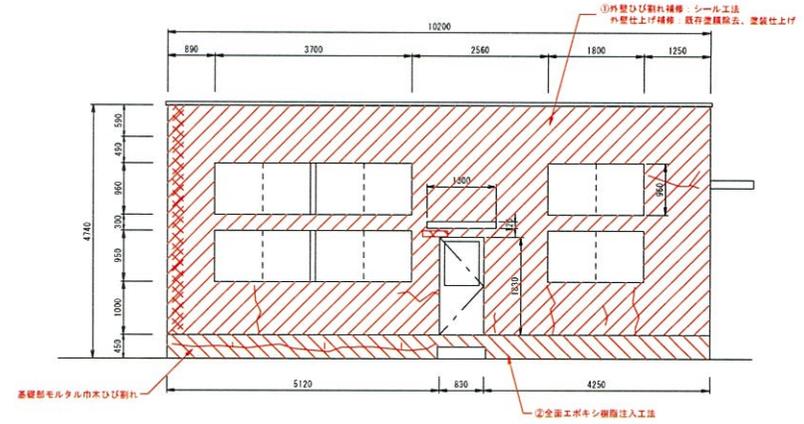
工事名	令和7年度 消防費 第1号 東豊浜排水機場事業計画書修正業務委託
図面名	東豊浜排水機場建屋 立面図(1)
作成年月日	令和7年 6月 10日
縮尺	S=1/50(A1) 図面番号 建-3
会社名	株式会社 若 鈴
事業者名	三重県伊勢市役所 産業観光部 緑地水管理課

東豊浜排水機場建屋 対策工法図(4)

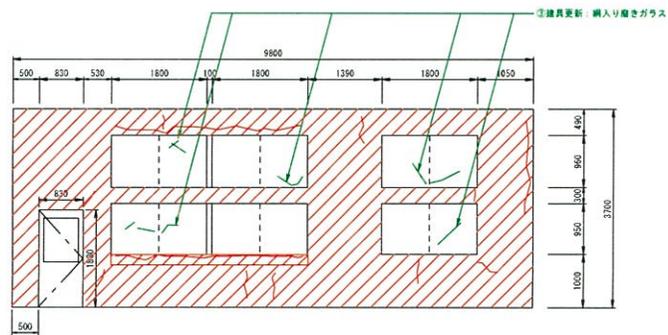
側面図 (西外側)



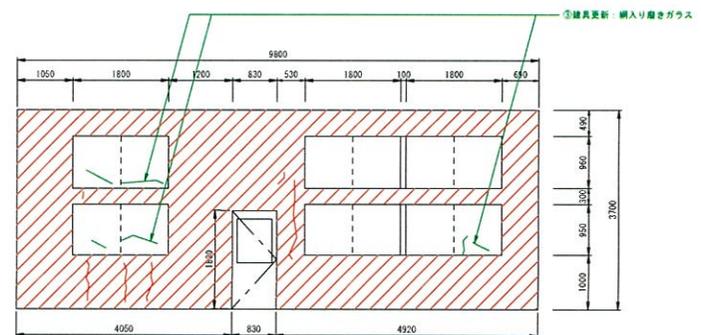
側面図 (東外側)



側面図 (西内側)



側面図 (東内側)



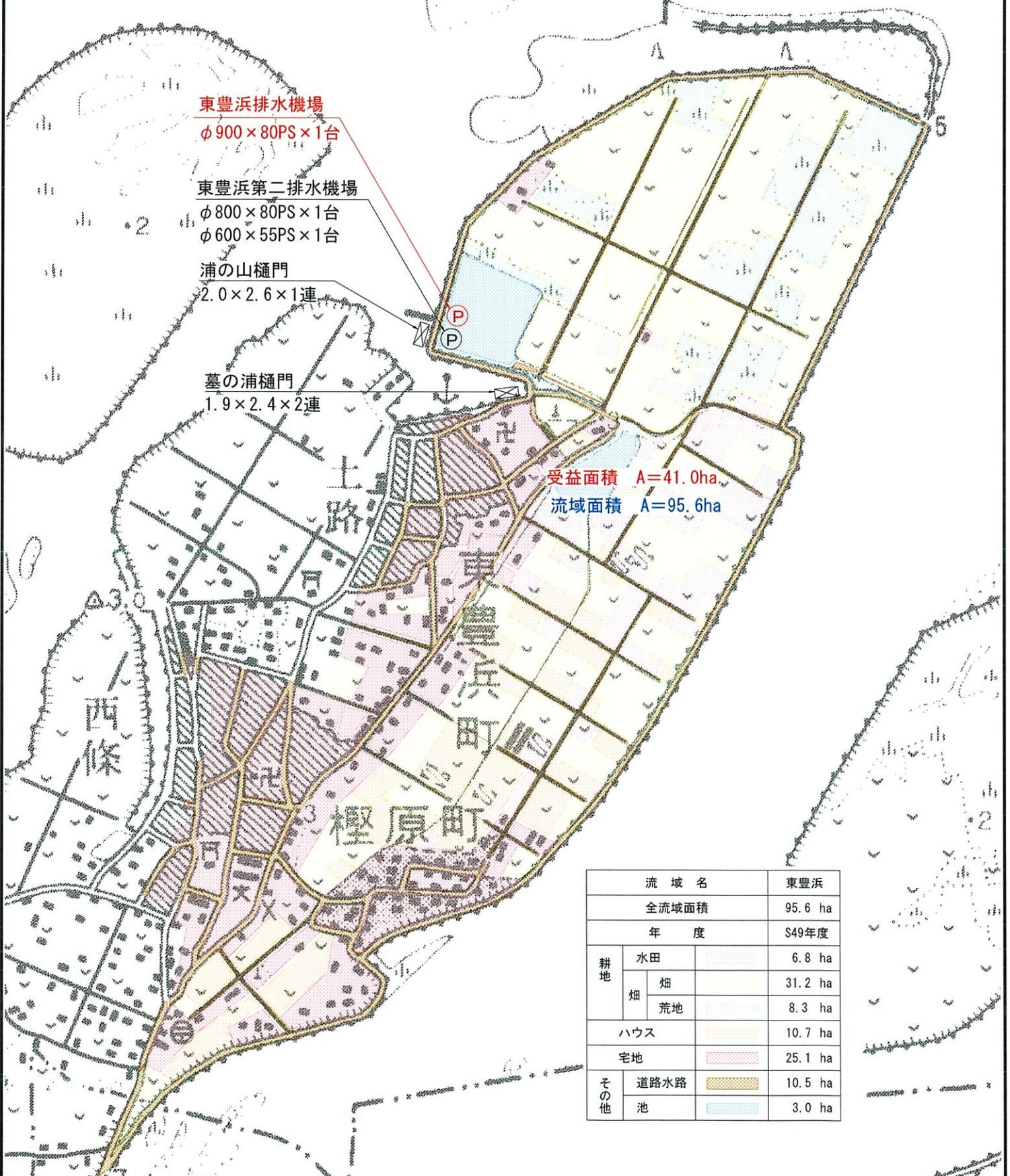
凡 例	
記 号	名 称
—	ひび割れ
—	漏水 (痕跡)
⊠	浮き
⊗	剝離・剥落

工事名	令和7年度 消防委 第1号 東豊浜排水機場事業計画書修正業務委託
図面名	東豊浜排水機場建屋 立面図(2)
作成年月日	令和 7年 6月 10日
縮尺	S=1/50(A1) 図面番号 建-4
会社名	株式会社 若 鈴
事業名	三重県伊勢市役所 産業観光部 福祉水産課

流域開発状況図 (旧況)



A1サイズ S=1:3,000



東豊浜排水機場
φ900×80PS×1台

東豊浜第二排水機場
φ800×80PS×1台
φ600×55PS×1台

浦の山樋門
2.0×2.6×1連

墓の浦樋門
1.9×2.4×2連

受益面積 A=41.0ha
流域面積 A=95.6ha

流域名		東豊浜	
全流域面積		95.6 ha	
年度		S49年度	
耕地	水田		6.8 ha
	畑	畑	31.2 ha
		荒地	8.3 ha
ハウス			10.7 ha
宅地			25.1 ha
その他	道路水路		10.5 ha
	池		3.0 ha

流域開発状況図（現況）



S=1:3000

東豊浜排水機場

φ 900 × 80ps × 1台

第二豊浜排水機場

φ 800 × 80ps × 1台

φ 600 × 37ps × 1台

浦の山樋門

1.8 × 2.4 × 1連

墓の浦樋門

1.8 × 2.4 × 1連

受益面積 A=31.2ha

流域面積 A=97.7ha

流域名		東豊浜	
全流域面積		97.7 ha	
年度		R4年度	
耕地	水田		7.5 ha
	畑		18.9 ha
	ハウス		4.8 ha
	山林		0.2 ha
	宅地		23.5 ha
その他	道路		9.8 ha
	池・水路		2.6 ha
	荒地		27.4 ha
	その他		3.0 ha